

# 1～3月の交通死亡事故特徴

～ 過去5年間（R3～R7）の死亡事故データから見る ～

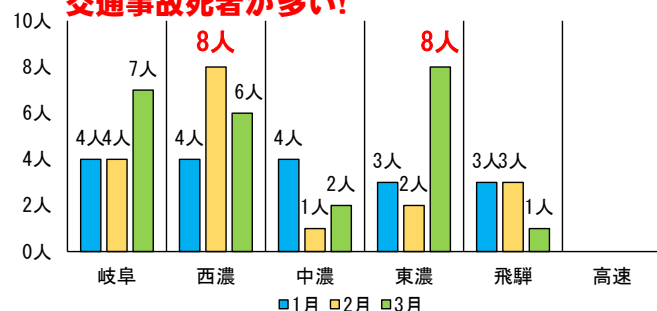
1～3月の死者数は、四半期で比較すると年間で最も少ないが、1、2月は夜間の事故が6割以上を占め、3月は昼間の事故が約6割を占めている。早朝から朝の通勤時間帯での事故が多い。国道での事故が1月から3月にかけて増加しており、市町村道での事故は3か月とも多い。また、信号の無い交差点での事故や単路での事故が多い。

《1月》死者18人 市町村道での事故、信号の無い交差点での事故、一時不停止など交差点関連違反による事故が多い。

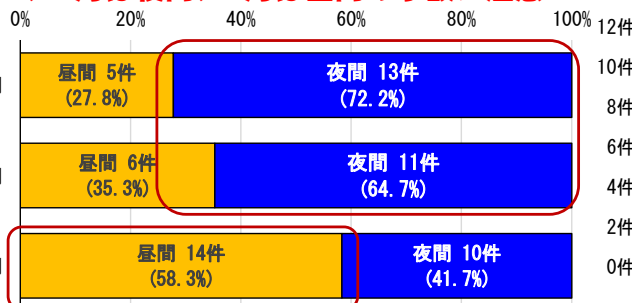
《2月》死者18人 時間帯では4時～8時に事故が集中し、単路での事故が多く、歩行者の被害が多い。西濃ブロックでの交通事故死者が多い。

《3月》死者24人 昼間の事故が約6割と多い。時間帯では4時～8時に事故が集中しているほか、車両単独事故が多く、漫然運転による事故が多い。

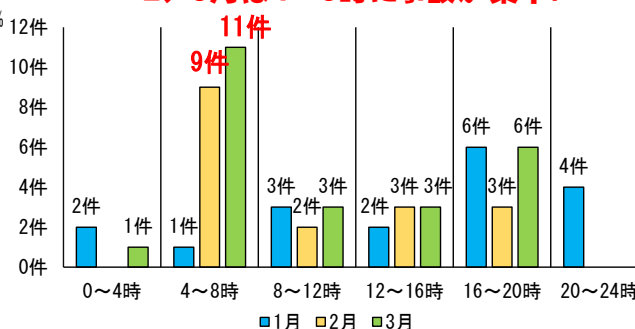
## 2月は西濃ブロック、3月は東濃ブロックで交通事故死者が多い！



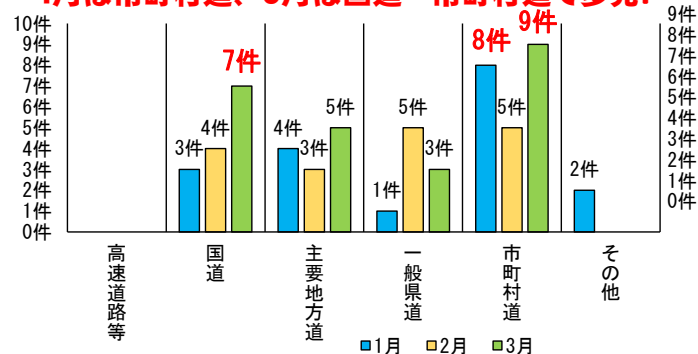
## 1、2月は夜間、3月は昼間の事故に注意！



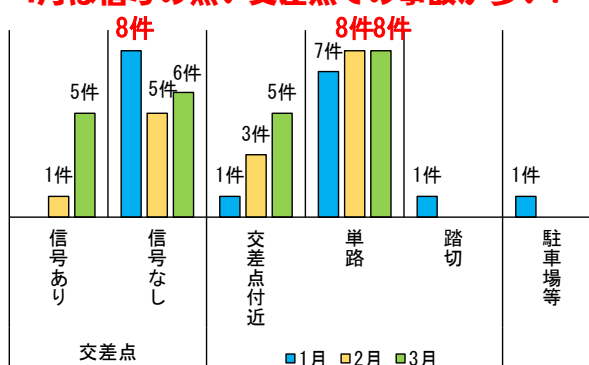
## 2、3月は4～8時に事故が集中！



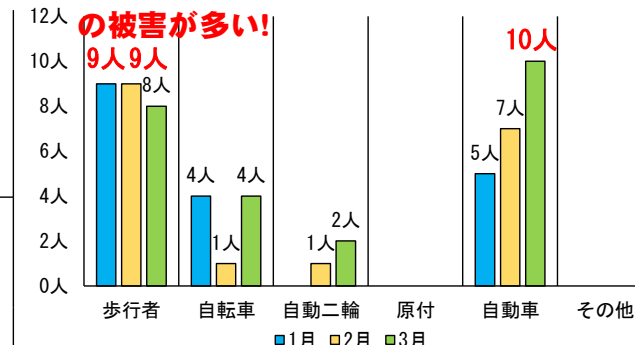
## 1月は市町村道、3月は国道・市町村道で多発！



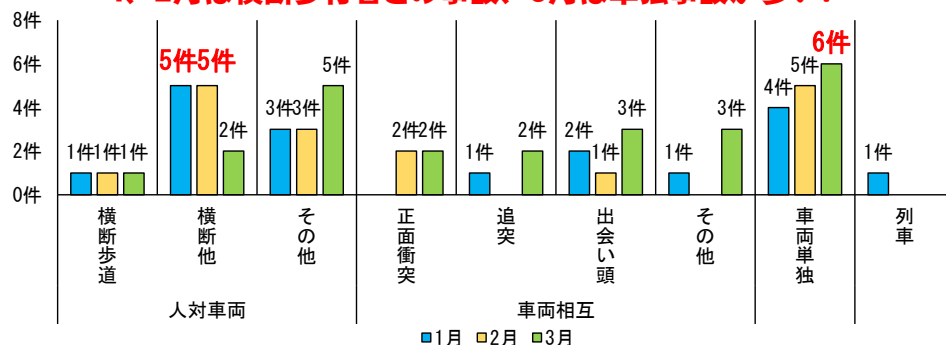
## 1月は信号の無い交差点での事故が多い！



## 1、2月は歩行者、3月は自動車乗車中の被害が多い！



## 1、2月は横断歩行者との事故、3月は単独事故が多い！



## 1月は交差点関連違反、3月は漫然運転、飲酒関係事故による事故が多い！

